

育友会 全国68会場で「支部懇談会」

3会場では『就職懇談会』同時開催

専修大学育友会(大瀬利行会長)は、今夏も支部懇談会を全国68会場で開催する。札幌、郡山、博多の3会場では「就職懇談会」を同時開催。同会では多くのご父母の参加を呼びかけている。

各開催地では教職員、育友会本部役員ら合わせて延べ302人が出席。大学の現況、学生生活の様子、就職に関する情報などを詳しく提供する。さらに1対1で行われる個人面談では、学業状況や進路について教職員とじっくり相談できる絶好の機会となる。※なお、関東地区の就職懇談会は9月18日(土)専修大学神田キャンパスで開催される。

【ニュース専修2004年7月号2面】

「モノづくり」への執念を語る

経営学部の「第27回地域と大学を結ぶセミナー」



左より順に
平野裕之氏、木村俊雄氏、今飯田 滋
氏

第27回地域と大学を結ぶセミナー「モノづくりに賭けるベンチャー魂」(経営学部・経営研究所主催。川崎市・川崎商工会議所協賛)が、6月19日に生田キャンパスで開かれ、学生、市民ら約90人が参加して、4時間半にわたる講演が展開された。

はじめに魚田勝臣学部長があいさつ。加藤茂夫教授が「ベンチャー経営とベンチャー魂」と題して、ベンチャー企業のコンセプトと組織をめぐる諸課題について講演。続いて今飯田滋キヤノン(株)取締役生産本部長が「キヤノンに於けるものづくりへの取り組み」を、次に垂直・平面と直角を追求し、2002年に黄綬褒章を受章した木村俊雄(株)ミツヨつくば研究所師匠が「高精度を支える匠の技とその心」を、最後に本学OBの平野裕之JIT経営研究所会長(昭45経営)が「一つずつ造れば安くなる／1個流し／」と題して、多品種少量生産時代の生産改革について会場の学生を動員、模擬生産ラインによる実演を交えながらの解説を試み、それぞれ現場での長年にわたる追究と研究により編み出されたノウハウを披露しながら、モノづくりへの執念を語った。

【ニュース専修2004年7月号2面】

世界の経済思想家6人の真髓に迫る

経済学部公開講座



▲アダム・スミスの国富論発表までの歩みを語る酒井教授(6/5)

世界の経済思想をリードした6人の偉大な経済学者の真髓に迫る「人と時代と経済学—現代を根源的に考える」公開講座(経済学部経済学科主催)が、6月5日から7月10日まで毎回土曜日6回にわたり、150人の聴講申し込みを得て、生田キャンパスで開催された。

同講座ではアダム・スミスを酒井進教授、マルクスを内田弘教授、ウェーバーを八林秀一教授、ケインズを吉田雅明教授、ハイエクを宮本光晴教授、ポラニーを内山哲朗教授が取り上げ、

その人物像、当時の社会的背景、新しい経済学体系を生み出す経緯、思想の根幹、彼らが目指したもの、などを明らかにし、現代に生きるわれわれに何を示唆しているかを論及した。

参加者からは「魅力ある講義で経済学がこんなに面白いものとは思わなかった」などの感想が聞かれ、非常に好評だった。

なお、この公開講座にあわせて、生田の図書館本館ブラウジングプラザ(9号館3階)で7月31日まで、講座で取り上げた経済学者の著作と共に、本学の創立者であり、経済学発展に大きく寄与した田尻稻次郎と駒井重格の著作を展示している。ぜひご覧いただきたい。

【ニュース専修2004年7月号2面】

学部ホームページをリニューアル

経済・法・経営・商・文学部及び教養科目・資格課程のホームページがリニューアルされ、より使いやすくなった。

講義要綱と教員紹介が相互に参照出来るので、本学を志す受験生も有用なツールとして活用していただきたい。

【ニュース専修2004年7月号2面】